つるさき

「日本の四季」を演奏するアンサンブル早島

発行所
鶴崎神社
〒701-0304
早島町早島2220
TEL 482-0097
FAX 482-0097
IP-phone
050-3318-1809
URL
http://www6.ocn.ne.jp/~turusaki/

神社の杜に響く支援の音色
（第一回音楽祭）

五月二十九日、東日本大震災復興支援として第一回音楽祭が開催された。新装の拝殿に響く雅楽や弦楽の美しく優雅な音色が、約六十人の聴衆を魅了した。

岡山県内の雅楽愛好家でつくる「岡山楽所」が越殿楽、浦安の舞、五常楽急などの優雅な雅楽の調べにあわせたおやかな舞楽を披露。また、岡山大正琴アンサンブルは、「ありがとう」「ひまわり」など馴染みの曲を、アンサンブル早島はヴィヴァルディの春に日本の春の曲を織り交ぜたオリジナル曲、「日本の四季」から春全楽章を披露した。

台風二号の接近に伴う雨にもかかわらず訪れた来場者は、日頃聞くこと見ることの少ない雅楽の調べや舞楽に身を乗り出して雅の時を過ごした。

この日は拝殿入り口に募金箱を設置、集まった義捐金は神社からの義捐金と合わせて神社本庁へ付託した。

本殿移設の書付発見

施工は塩飽大工

平成十九年九月、社殿建設に伴う本殿移設工事にあたり、腰板の撤去を行っていたところ、丁度束柱に隠れる部分の腰板から明治二十七年にも行われた本殿移設の書付が見つかった。

撤去作業時には破損して読めなかったが、この度施工者が修復して神社へ奉納した。

当社の本殿は関係書によると、享保四年（一七一九）に塩飽大工（しわくだいく）により、改築されたと記されているが、それを証明するものは無かった。

今回発見された書付は、享保四年のものではないが、移設改修にあたり、建立当時に携わった塩飽大工を呼び寄せて、工事を行った事が窺われる。

また、この書付は、宮大工が使う墨刺（すみさし）で書かれており、工事を行った宮大工が自分で書いたものと思われる。

笠島は、現在の丸亀市塩飽本島町笠島であり、与島の西に浮かぶ本島（ほんじま）の東端にある塩飽水軍の本拠である。

戦国時代に活躍した塩飽水軍は、畿内に近かったこともあり織田信長はいち早く、この水軍を味方に付け、さらに豊臣秀吉、徳川家康も塩飽水軍を保護し、数々の戦役で活用して行った。

享保六年（一七二一）に、廻船の運航権を大坂の廻船問屋に奪われると、島民はそれまでの船大工の技術を生かし家大工や宮大工へと転身し、塩飽大工と呼ばれ瀬戸内海沿岸を中心に建築を行い、大江紋兵衛常信は吉備津神社本殿及び拝殿、橘貫五郎は備中国分寺五重塔と善通寺五重塔の建立に携わっている。

香川縣讃岐國那珂郡塩飽本嶋笠嶋村
内字屋釜村　吉田●太郎　吉田●●
明治弐七年旧八月弐三日調之
備中國都宇郡早嶋村

お知らせ

10月15日執行の八幡神社秋祭は、第2回音楽祭開催のため、今回に限り午後五時に変更致します。

ご参拝の方は、ご昇殿の上、ご参列下さい。

神道Q&A

【質問】

「厄病神」とはどのような神様なのでしょうか。

【答え】

厄病神とは病気などさまざまな災厄をもたらす悪神であり、疫神、厄神とも考えられています。

疫神に対する信仰は古くからあり、神祇令には年中祭祀として鎮花祭が規定されています。これは春花が飛散する旧暦三月に、花と共に疫神が飛び散るのを防ぐため、大和の大神神社と摂社・狭井神社でおこなわれた祭りであり、現在では毎年四月十八日に執行されています。

また毎年六月、十二月の二度、都へ疫神が入らぬように都の四隅でおこなわれた道饗祭も、こうした信仰によるお祭りです。具体的には道祖神と称される八衢比古・八衢比売・久那斗の三神に対する祭りですが、供物に獣皮が用いられることなどから、疫神（疫鬼）が都の中に入らぬよう路上に迎えてもてなし、退散させる意味があるともいわれています。

このように災厄をもたらす疫神を祀るということは、我が国独自の考え方に基づくものです。

例えば宮中でおこなわれていた追儺（節分行事）の祭りには、大陸から伝わった当初に無かった疫鬼へのもてなしが見られます。

また祟りをもたらす霊魂（人霊）を神霊として鎮め祀るということは御霊信仰にも見られ、丁重にお祀りすることにより災厄を防ぐ霊威ある神へと変わるのです。

一年の災厄を祓うため、正月に厄神詣として厄神を参詣する風習があったのは、まさにこうした信仰によることです。現在でも、疫神送りと称される行事が地域によっておこなわれるなど、日常生活の平穏を祈る人々の気持ちは今も昔も変わりがありません。

祭事暦

十月十五日（土）
鶴崎神社秋季大祭【供膳祭】［午前十時］
八幡神社秋季大祭［午後五時］（露店あり）

十月十六日（日）［午前九時］　神幸祭

十一月中　七五三祈祷

十一月二十三日（水）［午後二時］
新穀感謝祭

一月二日（月）［午後二時］　年始祭

毎月一日［午前九時］　月次祭

※月次祭はどなたでも参列出来ますので、お誘い合わせ参拝さい。

第２回鶴﨑神社 ♪音楽祭♬

音薬師 Ron ／雅楽／太鼓

★日　時　平成 23 年 10 月 15 日（土）午後６時～８時 30 分

★場　所　鶴﨑神社拝殿　（入場無料）

音薬師 Ron

波音ミュージック所属の音薬師 Ron（ロン）は肉体的な病や心の病に、つらく悩んでいる方の力になりたいという気持ちで独自の音楽「昇華波動曲（しょうかはどうきょく）」を奏でている。

２３才の頃、悪性の病気、うつ病などの経験を経て家族や友人、沢山の人に救われた自身の経験を活かし今度は自分自身が誰かの力になりたい。力になるべきだ！と現在の音楽に出会う。

『殻に閉じこもってしまった人の心というものは、自分が誰よりも一番よく知っている。』

心と魂に訴えかける『音』自然の音、風、水、虫の声、そして人の声、その空間ありのままを伝えて行くというコンセプトにこだわった楽曲の数々は、独自の世界観を持つ。

そんなスピリチュアルなサウンド、歌声からか…　全国のライヴハウスやホールではなく、主に神社の神域で、演奏を行っている。美しいメロディーに魅せられたファンも多い。

平成 21 年３月発売のファーストアルバムから「民に告ぐ…」他楽曲多数がひまわりテレビのテーマソングとして現在放映されるなど多方面から注目されている。

岡山楽所

第１回音楽祭でも、雅楽と舞楽の演奏を行った。
県内の雅楽愛好家で結成されており、日本伝統の雅楽を奏でる。

如水太鼓

当社ではお馴染みの豊洲の太鼓クラブ。快活な童太鼓と、大人の迫力の演奏。

い草太鼓

結成 10 年目を迎える早島の太鼓クラブ。円熟の演奏が一層冴え渡り、音楽祭のフィナーレを飾る。

♪プログラム♪

10 月 15 日（土）	
17：30	開場
18：00	**音薬師 Ron**
18：30	休憩
18：40	**岡山楽所**
19：10	休憩
19：20	**如水太鼓**
19：50	休憩
20：00	**い草太鼓**
20：30	終演